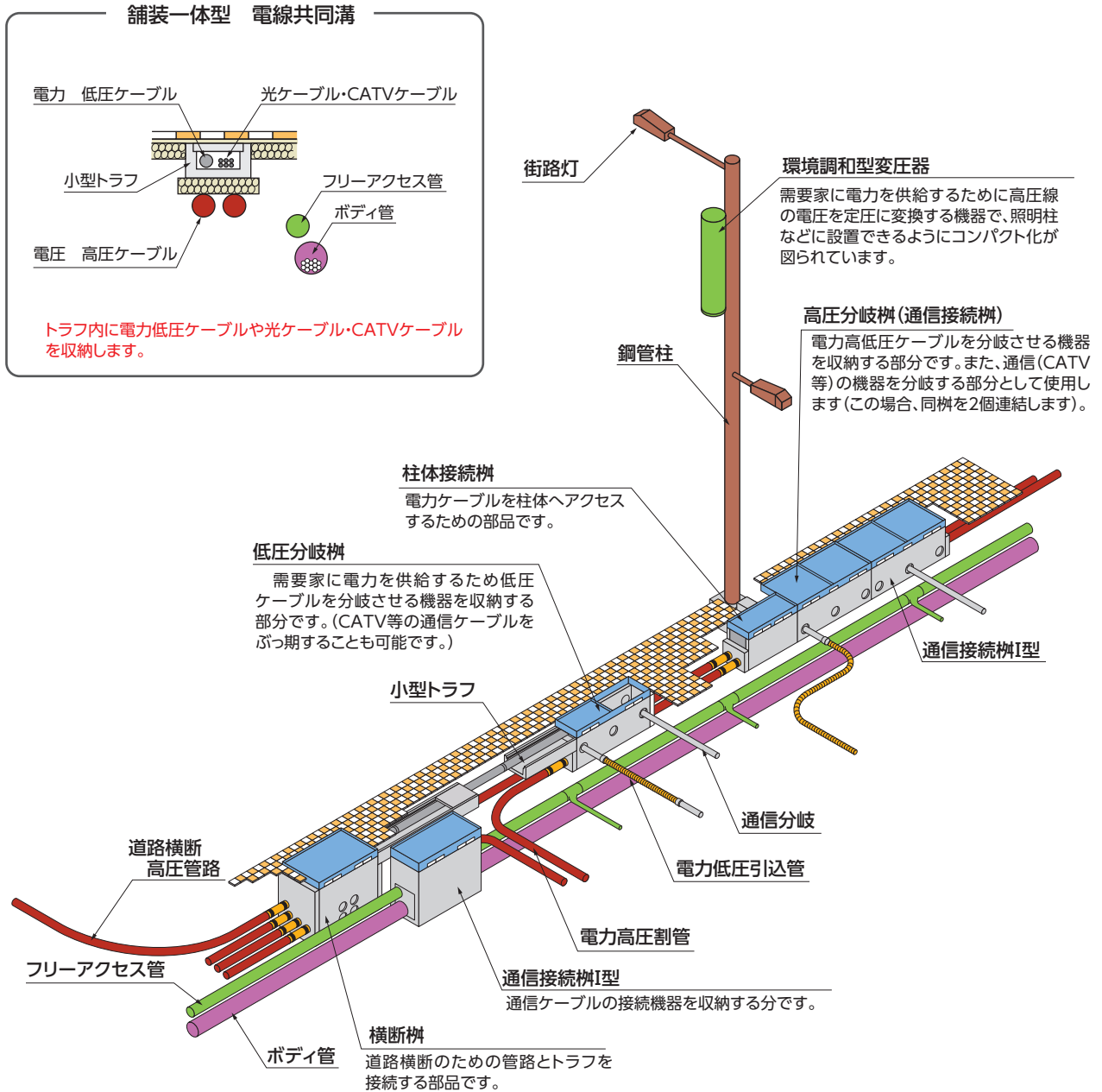


C.C.BOX (次世代型電線共同溝システム)

イメージ図



電線共同溝施工写真 (4期)



■施工前



以前の架空配線

■施工後



無電線化された街並

「電線類地中化システム」の4つのメリット

人も車も通りやすくなります。

電柱がなくなると同時に道路の整備が行われますので、歩道が広く使えることはもちろん、交差点などの見通しもよくなり、歩行者やベビーカー、車いす、シニアカーなどが安心して通行できる、快適なバリアフリー空間が生まれ出されます。



街並みがスッキリと美しくなります。

無電柱化により空を覆っている蜘蛛の巣状の電線類が地中化されることでそこから生まれる空中空間はスッキリと、地上スペースには植栽などで街の景観が美しくなります。特に町興しなどでの活性化や観光施策では大成功への秘訣です。



災害に強い耐震の街をつくれます。

架空配線は大地震や台風、豪雪などの災害時には電柱の倒壊や電線の垂れ下がりなどで危険がいっぱい。電線類地中化システムは倒れた電柱などで道をふさがれることなく緊急車両などの通行もスムーズに。災害に耐える強い街をつくれます。



ニューメディア時代に対応しています。

日々進歩する情報化社会では、今後も増え続ける通信・放送系ケーブルへのニーズが高まっていくことが予想されます。畢線類地中化システムはこれらに迅速に対応。また地震などの災害時には大容量情報通信回線への被害軽減が図れ、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。